

名古屋市立大学病院

病院長名	間瀬 光人
所在地	〒467-8602 愛知県名古屋市長区瑞穂区瑞穂町字川澄 1
交通案内	地下鉄：桜山駅下車 3 番出口 直結 市バス：「市立大学病院」または「市立大学病院」下車

□ 病院の特徴

当院は800床の病床、31の診療科を有し、地域の中核医療機関として日々安全で開かれた医療を提供しています。

外来診療棟、病棟・中央診療棟に続き、近年増加するがん患者さんに対し、高度な診断や先端治療を併用する集学的な治療が行えるように、平成24年には喜谷記念がん治療センター（東棟）を開院しました。がん診療拠点病院や救命救急センターの指定・認定を受けると共に、高度急性期病院・特定機能病院としての役割を果たすよう努めると共に、教育研究機関として優れた医療人の育成に努めています。

□ 研修プログラムの特徴

名古屋市立大学病院総合診療専門研修プログラム

多数の連携施設と診療科を豊富に用意した、大学病院ならではの自由度の高いプログラム構成が特徴です。大学病院と市中病院で18カ月の総合診療研修とその他各科を選択します。週1日は他施設での研修も可能で、補助的な総合研修を実現。臨床・教育・研究のバランスを取り、幅広い診療内容に柔軟かつ的確に対処できるような、コシの強い総合診療医を目指せるよう、手厚く応援します。

<研修モデル>

	1年次	2年次	3年次
4月	名古屋市立大学病院 (内科) (必修)	連携病院または 名古屋市立大学病院 (内科)	愛知県厚生連 知多厚生病院 (附属篠島診療所を含む) (総合診療Ⅱ・必修)
5月			
6月			
7月	連携病院または 名古屋市立大学病院 (小児科)		愛知県厚生連 足助病院 (総合診療Ⅰ・必修)
8月			
9月			
10月	中頓別町 国民健康保険病院 (総合診療Ⅰ・必修)	連携病院または 名古屋市立大学病院 (総合診療Ⅱ)	名古屋市立大学病院 総合内科・総合診療科 (総合診療Ⅱ・必修)
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

1例を示します。

詳細は名古屋市立大学病院総合研修センターHPを参照

http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/kensyu-c.dir/specialist_prg/dept.html



□ 主な連携施設

名古屋市立大学医学部附属病院群（東部医療センター、西部医療センター、みどり市民病院、みらい光生病院）、足助病院、知多厚生病院、稲沢厚生病院、豊川市民病院、大同病院、笠寺病院、蒲郡市民病院、旭防災病院、いなべ総合病院、菟野厚生病院、さわらび会福祉村病院、おがたファミリークリニック、北海道・中頓別町国民健康保険病院など

□ メッセージ

総合内科・総合診療科 部長代理 兼松 孝好

大学病院・市中病院

ハイブリッド型の“新世代”

総合診療医療研修

～燦々と輝く

「太陽」のような医師を目指して～



総合診療医は、幅広い対応力と柔軟性を持ち、診療科の垣根を超えて、患者さんやその家族の広いニーズに応えることができる、新たな医師です。高度な診断力、複合的診療に必要な総合マネジメント、多職種間のリーダーシップ、IT遠隔医療といった先進性など、患者さんに寄り添いながら輝く医師になるために必要な研修を提供します。

□ 募集要項

※名古屋市立大学病院で勤務する場合

・採用予定人数	数十人	※全領域あわせた人数であり、領域別の詳細の人数は各プログラム責任者と相談の上決定
・給与/月額	228,000円～478,000円	(勤務区分・各診療科の外勤の状況により異なる)
・当直回数/月	4回程度	(診療科により異なる)
・当直料/回	24,000円～34,000円	
・その他	年間有給休暇20日間、通勤手当、協会けんぽ、厚生年金保険、雇用保険、労災保険等あり	
・応募連絡先	担当者	医療人育成課臨床研修係 専攻医募集担当
	電話番号	052-853-8545
	Eメール	s-kensyu@med.nagoya-cu.ac.jp